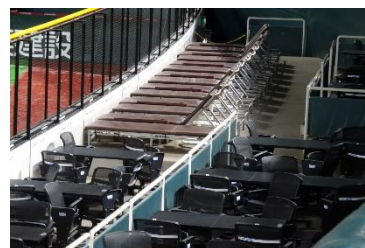


「志を立てて、以て万事の源となす」

福岡PayPayドーム見学



塾生からの声

- 球場演出は、お客さんと選手の一体感を可視化できるかが大切、という言葉が印象に残りました。学校現場でも教室の一体感、学校の一体感、職員の一体感、学校と地域の一体感を可視化して考えることが大切だと思いました。
- 施設を見学させていただくことで、より相手のことを考えて経営していくことの大切さを感じることができました。
- 「体験の価値は本人が決める」という言葉が印象に残りました。本人が決めるけれど、演出次第で価値は高められる、ということを教育に置き換えると、学びの価値は本人が決めるものだが、私たちの働きかけによってさらに大きな価値に変えることはできる、ということだと思いました。
- 現状に満足せず常に変化し、発展し続けていく福岡PayPayドームの姿を目の当たりにして刺激を受けました。私も自分にできる役割を見直し、子どもたちが楽しいと感じる学校を仲間とともに試行錯誤しながら作っていきたく感じました。

講義・演習

「ホークス流 目標設定とチームマネジメント」

福岡ソフトバンクホークス株式会社

ブランド推進本部長 井上 勲 氏

『目的』とは、実現させたい最終的な状態、『存在意義』そのものであり、『目標』は目的達成のための手段。大きな目標を小さな目標に置き換えることが具体的なアクションにつながる。目標を定めたらその目標に近づいているかを必ず検証する。PDCAサイクルを回すためには記録をすることが大変重要。目的と目標の区別がつかなくなってしまうことを防ぐためには、記録ともう一つ、『立ち止まらせる人』の存在が必要。新人とベテランにはそれぞれ役割がある。新人の強みは『発想力』、ベテランの強みは『経験値』。新人の『発想力』にベテランの『知識経験』を掛け合わせると、新たな業務改善・新たな価値を生み出すことができる。ベテランが新人の新しい考え、新しい発想を引き出す役割を果たすと若手のモチベーションも向上する。」



存在意義 = 目的

検証改善PDCA

「記録」の重要性

新人の「発想力」 × ベテランの「知識経験」 = 業務改善

塾生からの声

- 広報活動の目的や目標設定のあり方について他校の先生方と演習を行った後、講義を聴くことでさらに理解を深めることができました。
- 「目的」と「目標」の違いについて改めて深く考えることができました。日々の教育活動をどのような方法で進めていくのか、これまで以上に意義を考えながら取り組んでいこうと思います。
- 「学校の広報の目的は学校の存在意義を示すこと」という言葉が強く印象に残りました。「行きたいと思える学校」「地域社会に求められる学校」にするため、視野を広げ、ベテランと若手をつなぐ架け橋となり、学校の発展に寄与したいと思います。
- 新人の「発想力」とベテランの「知識経験」を掛け合わせることが新たな業務改善・新たな価値を生み出す、というお話が印象的でした。若手とベテランがしっかりとコミュニケーションを図りながら、より良い教育活動を実践できるような組織づくりや雰囲気づくりに努めていきたいと思っています。
- 実践したことの効果を適切に評価し、改善につなげていくためにも、数値目標の必要性とPDCAサイクルの大切さを再認識しました。

令和4年度福岡教師塾（第3回）
令和4年7月21日（木）実施
会場 福岡PayPayドーム・福岡SRPビル